

国際コミュニケーション学科・グローバルリーダーシップ育成の試み

Global Leadership Development at NJC GCD

牟田 美信

1 はじめに

平成 28 年度入学者より、国際コミュニケーション学科では、クォーター制への移行に伴い、1 年生の 8 月～11 月に「ギャップイヤー」という学外研修期間を設け、中期留学（カナダ、韓国、中国）、国内インターンシップ、サービslラーニング（地域活動、ボランティア活動など）を開始した。

これまでも約 1 ヶ月間の有給インターンシップを実施し、学生のキャリア教育の上で非常に効果がみられた。平成 28 年度からは、1～3 ヶ月とさらに長い期間、インターンシップ等に取り組むことが可能になり、社会や海外で様々な経験を経ることで、さらに社会人としての成長が見られた。

今回は、このような経験をした学生の中で、さらに自分の力（特にグローバルな力）を高めたいと希望する学生を対象に、韓国にて「グローバルリーダーシップ海外研修」を実施した。

このプログラムの実施を通して、社会人として必要とされる基礎力をグローバルな環境でさらに高めることができることを目指した。ここでは、平成 28 年度の試みに関する学生の声をもとに、今回のプログラムを検証し、来年度以降どのようなものにすべきかを考えてみた。

2 社会人基礎力を高めることの重要性

グローバルな人材とはどのような人を指すかに関しては、様々な意見があるが、本名信行が「企業・大学はグローバル人材をどう育てるか」で述べているように、‘ただ単に上手に英語が話せる人材というだけではなく、多様な交流相手の多様な文化を理解する能力が重要’であると感じている。

これから日本人は、地方においても、多様な文化背景を持つ者と上手にコミュニケーションを取り、協働して仕事をし、様々な課題に取り組んでいくことが求められる。

実際、長崎短期大学のキャンパスにおいても、平成 29 年度は、アメリカ、中国、台湾、韓国、ミャンマー、ベトナム、フィリピン、イタリアなど様々な国からの留学生と日本人学生は学んでいる。

3 「グローバルリーダーシップ海外研修（韓国）」～長崎短期大学アンバサダープログラム

3.1 事前指導と準備

英語、韓国語、日本語を使用し、プレゼンテーションを海外の大学生の前で実施し、又、海外の学生と意見交換を行うことを目的に、まずは、次のような事前指導と準備を実施した。

できるだけ学生に自由に作成させ、プレゼン指導で、細かい指導を行った。また、プレゼンテーションの内容、シナリオ作成以外に、プレゼン時のマナー指導や、韓国語指導も専門の先生に依頼し実施した。

それぞれのグループでお互い協力し合い、自発的に韓国語を取り入れ、全てを英語でプレゼンするチームもあり、自ら自分の力を伸ばしたいという気持ちを感じ取ることができた。

(事前指導と自主練習計画)

平成28年度 グローバルリーダーシッププレゼン準備計画

* 茶色の所だけ確定で、グループでのプレゼン作成・練習は、その進捗状況で時間を調整してください。

時限	17年2月13日月曜日	17年2月14日火曜日	17年2月15日水曜日
1	プレゼン(シナリオ)作成	プレゼン(シナリオ)作成	プレゼン指導(梶谷先生)
2	プレゼン(シナリオ)作成	プレゼン発表練習	プレゼン指導(梶谷先生) 韓国事情(ユミンジョン先生)
昼			最終渡航確認(牟田・藤原)
3	プレゼン(シナリオ)作成	プレゼン発表練習	
4	プレゼン(シナリオ)作成	プレゼン発表練習	

(医療事務講座受講者グループ)

* 茶色の所だけ確定で、グループでのプレゼン作成・練習は、その進捗状況で時間を調整してください。

時限	17年2月27日月曜日	17年2月28日火曜日
1	プレゼン(シナリオ)作成	プレゼン指導・韓国事情 (ユミンジョン先生)
2	プレゼン(シナリオ)作成	最終渡航確認(藤原)
昼		
3	プレゼン(シナリオ)作成	
4	プレゼン(シナリオ)作成	

プレゼンテーションの内容に関しては、聴衆となる韓国人学生にとって興味があり、かつ、プレゼンをする日本人学生が興味を持って取り組めるもの考えた。

(プレゼン作成に関する指示内容)

- ① 3グループ (5人x2グループ、4人x1グループ)
- ② スライド10枚以内、時間15～20分、フォント30ポイント以上

* プレゼン 10/20/30 ルールに従う。

目標：ぜひ、佐世保を訪問したくなるような、もっと質問したくなるようなプレゼンへ

- (1) 佐世保市内紹介 (地図からスタート→ 佐世保観光案内：お祭りイベント・食事・お土産、その他)

* 資料1枚準備 (紹介する場所の名前の一覧)

- (2) 佐世保周辺地区紹介 (地図からスタート→ 主な観光地、長崎、平戸、波佐見、有田、嬉野温泉、その他)

* 資料1枚準備 (紹介する場所の名前の一覧)

- (3) 長崎短大紹介 (3学科紹介、茶道文化教育、留学、インターンシップ、Awesome Sasebo プロジェクト)

* 資料1枚準備 (紹介する項目の一覧)

3.2 実施内容

当初、プログラム参加希望者は15名だったが、就職試験と重なり、最終的に12名の学生が参加した。

今回の研修は、「GC Global Leadership Program in Korea」ということで、平成28年3月21日（火曜日）～3月24日（金曜日）3泊4日で韓国・釜山で研修を実施した。

具体的には、自らの考えを（海外でも）発信できる力をつけることを目的に、韓国の「新羅大学」、「釜山女子大学」、「培材大学」において、学生同士のプレゼンテーション・ディスカッション、学生同士の交流を行った。また、韓国にある日系グローバル企業を訪問し、海外で仕事をする、日韓交流に関して話をし、意見交換を行った。

3月21日（火） 福岡→韓国大田市へ移動

3月22日（水）

（午前）培材大学キャンパスツアー、培材大学でのプレゼンテーション&ディスカッション

学生代表の案内で、姉妹大学である培材大学キャンパスツアーに参加した後、ツーリズム・イベントマネジメント学科の中村教授、キム教授、パク教授の指導のもと、カジノ学の説明とデモンストレーションをしてもらった。今後、日本でもカジノが解禁になる方向にあり、カジノ学学科的なものも大学に設置される可能性があり、学生はとても興味を抱いて実際にバカラやブラックジャックに挑戦した。その後、培材大学の学生、長崎短期大学の学生の順で、それぞれが準備していたプレゼンテーションを英語、日本語、韓国語で行った。プレゼン終了後、学生同士の交流会を行い楽しく歓談を行った。双方のプレゼンも良くてきており、充実した学術交流会となった。現在、本学より交換生として留学している学生も参加し、留学状況に関する面談もおこなった。



（午後）大田市国際交流センターでチョゴリ着付け体験学習

培材大学の学生さんの案内で、大田市の国際センターに行き、韓国伝統のハンボック着付け体験を行った。教員は、7月に長崎短期大学を訪問する培材大学のACEプログラムのスケジュールの打ち合わせと培材大学と大田市が本年度より日本で実施する、韓国語スピーチコンテストについての説明と学生の参加依頼を受けた。



(学生のコメント)

①培材大学訪問に関しての感想（プレゼンを含む）

・プレゼンで動画が流れなかったのがいちばんの反省点。練習ではずっと流れていたのになんでかよく分からなかったけど、反応の良い学生が多かったので助けられた。マイクが無かったのでちゃんと聞こえていたか分からないけど無事に終わって良かった。

・初めての発表でムービーは流れなかったり大変だったけど倍材大学の方々がちゃんと聞いてくれて嬉しかったです。また倍材大学の人の発表を聞いた時ハキハキ喋っててあんな風になりたいなって思いました。皆個性が強くて羨ましいと感じました。

・図書館がとても印象的で、上には博物館などがあり、とても広くてびっくりしました。初めて会う韓国人の学生の前で発表ということで、緊張しました。ですが、とても反応がよかったので、楽しかったです。

・倍材大学では、まず案内してくださったお兄さんの日本語力に驚きました。自分ももっと勉強して韓国語英語が喋れるそうになりたいと思いました。また、大学がとても大きくてすごい学校だなと思ったので機会があればまた行きたいと思いました。プレゼンは、動画が流れないというハプニングがあり準備不足だったなと思いました。

・大学の見学や実際の授業を体験できて、良かったです。自分たちのプレゼンも恥ずかしさはありませんでしたが、やりきることができました。そして、培材大学の学生のプレゼンも聞くことができ大学のことや大田のことを知ることができ良かったです。

・韓国で初めて訪れた学校だったので最初は緊張しましたが、今回交流した学生さん達はみんな本当に優しくプレゼンを一生懸命聞いてくれて、反応してくれたのが嬉しかったです。韓服を着て一緒に写真を撮ったのがすごく良い思い出になりました。交流する時間が短かったのもっと大田について教えてもらったり一緒にご飯を食べたりしたかったです。

・たくさんの場所を案内してもらい、あちらの大学の学生さんのプレゼンテーションも素晴らしかったし、仲良くなれてよかった。

・歴史を感じる学校でした。一人一人の勉強への意識が高いと感じました。初めてのカジノを体験してルールは難しかったけど、楽しかったです。プレゼンでは、ちょっとしたハプニングもあったので心配だったのですが最後までやり通すことができて良かった。

・初日でなかなか伝えるという行為が欠けたかもしれないけど、真剣に聞いてくれて嬉しかったです。相手の方のプレゼンも見れて良かったです。堂々と発表していて、参考になりました。また、コミュニケーションがたくさんとれて良かったです。

・短大とは比べられないほど広くてびっくりしました。韓国人もとても積極的に話しかけてくれたり、いろいろな話をすることができ、とても楽しかったです。プレゼンは少し緊張したけど、意外と堂々とできたと思います。

・海外の方へ向け初めてプレゼンをしました。私たちの班は英語で全てプレゼンをしましたが日本語でプレゼンをするよりも理解してもらえた気がします。すごく積極的な学生たちをみて私自身もより積極的な人間になりたいと思いました。韓服を始めて着れてとても嬉しかったし海外の方が日本に来て着物を着る嬉しさがわかる気がしました。

初めての海外（韓国）渡航で、初めて韓国人学生を前にしてのプレゼンテーションで、かなり緊張していたが最後までやりきることができ、また韓国の学生が熱心に聞いてくれたことに、満足感、達成感を感じることができたようだ。一方、準備していた動画や音声流れなかったりとハプニングが起こったことで、事前確認、準備の大切さも学んだ。倍材大学学生の日本語力、英語力の高さに加えて、プレゼン等での韓国人学生の積極性や堂々とした態度にも刺激を受けたようだ。また、韓国の伝統衣装である韓服を着せてもらい感動し、外国人が日本の着物を着て喜ぶ気持ちが、自分たちが経験して理解できたようだ。

3月23日（木）

（午前）釜山女子大学訪問・交流

姉妹大学・釜山女子大学を訪問し、Jung, Young-Woo 新総長に挨拶を行い、キャンパスツアー後に、スチュワーズ学科の授業見学と学生交流を行った。また、釜山女子大学に交換留学している本学卒業生と面談を行った。



（学生コメント）

②釜山女子大学訪問に関しての感想

- ・おんに達がとても綺麗で優しくてすごくフレンドリーだった。同級生だけどとても大人っぽくて、日本語も上手な学生が多かったのが刺激をもらった。
- ・私は韓国語がまったくわからないのであまり話せなかったのもっと韓国語わかるようになりたいなと思いました。あと優しい人が多くてもっと沢山交流したいなと思っていました。
- ・エアラインを目指してる学生なので、美人な人が多いし、姿勢なども綺麗でとても尊敬しました。夜ご飯を食べに行った後も色んなところを紹介してくれて、付き合ってもとても優しい人達ばかりでした。
- ・釜山女子大学では、少ない時間でしたが授業風景など見れてよかったです。また、学生ともたくさん話すことができたし仲良くなれたのでよかったです。もっといろんな話ができればよかったなと思いました。あと、夜もご飯や買い物など韓国人じゃないとわからなかったり難しいことをたくさん教えてもらえてよかったです。機会があったら韓国に行ったらまた会いたいなと思いました。
- ・大学見学もですが、授業の様子も見学できて興味深かったです。学生とたくさん話すことができ、また夜は一緒にサムギョプサル、ソル빈を食べて、ショッピングしてとても楽しかったです。
- ・釜山女子大学では実際授業で使われる教室を何ヶ所か見学させていただきましたが、各学科の施設や道具の充実性に驚きました。またエアライン科の学生さん達は容姿や立ち振る舞いから意識の高さを感じました。話しかけてみると気さくに話してくれてすぐ仲良くなることができました。互いに言葉を教えあいながら会話をする事で韓国語を学ぶこともでき、とても良いコミュニケーションをとることができました！
- ・エアラインの方々の意識の高さだったりを学ぶことができ、仲良くなれてよかったです。
- ・日本人とは違い積極的で私も見習わないと行けないと思いました。CA クラスの人達と関わることができて、もっとコミュニケーションを高めたいと思いました。
- ・学校のことをたくさん教えてくれて楽しかったです。日本語が上手でびっくりしたし、授業の厳しさもとてもいい刺激を受けました。
- ・エアライン科の方とたくさん話してとてもかわいくて優しくて、一緒に出かけたりするのが楽しかったです。韓国人の友達ができてとても嬉しかったです。大学の学食がとてもおいしかったです。
- ・まずは韓国の大学の設備の良さに驚きました。釜山女子の学生さんたちは以前茶道大会の後に行われたクリスマスパーティーに参加していた学生が多く私もその時から積極的に仲良くなっていけばなと思いました。日本について楽しそうに話してくれて佐世保の思い出もたくさん話してくれて嬉しかったです。一緒に夕ご飯を食べた後韓国の街を案内してもらい友達もできました。

姉妹大学・釜山女子大学とは、20年以上「茶道」を通して、交流をしている。長崎短期大学は、10月の学園祭で日本の茶道を韓国人学生へ、12月には、韓国の茶道を日本人学生と佐世保市民に披露してもらい、両大

学の友好関係を築いている。

今回は、スチューデント学科の授業見学と学生交流をさせてもらった。ここでも、本学学生は韓国人学生と直接触れ合うことで、言葉は完璧に通じないなかでも、コミュニケーションの楽しさや、韓国人の優しさにも触れることができた。また、韓国人学生が自分の将来の夢に向かって、頑張っており、意識の高さにも気づいたようだ。

(午後) 新羅大学キャンパスツアー&学生プレゼンテーションとの交流会ディスカッション

本学卒業生で新羅大学教授の宮城先生と学生の案内でキャンパスツアー後、宮城先生の講話、本学学生のプレゼンテーションと学生同士の意見交換会を実施し、有意義な時間を過ごすことができた。多くの留学生を受け入れており、寮の施設も充実したものになっている。

(学生コメント)

③新羅大学訪問に関しての感想（プレゼンを含む）

- ・作成した英訳を一部の人しか持っていなかったので多分学生達は意味がわからなかったと思う。韓国語ももう少し勉強して加えるべきだったかなと思った。
- ・日本語がペラペラの人が多くてびっくりしました。自分ももっと語学頑張らないと行けないなと思いました。プレゼンはやっぱり緊張してうまくできなかったのもっとプレゼン慣れをしたいなと思いました。
- ・学校が広すぎて、新羅大学の学生だったら、迷子になりそうだなと思いました。プレゼンは倍材大学より聞いてくれる学生が多く、1回目に動画が流れなかったので不安でしたが、成功することができよかったです。
- ・新羅大学は、まずとても敷地が広くてびっくりしました。通うのが大変そうだなと思いました。だけど、そのぶん寮も多くて設備もすごいいい学校だなと思いました。新羅大学では、あまり交流する時間がなかったのですが、新羅大学にも日本語がうまい学生さんがいてすごいなと思いました。
- ・学校見学からプレゼン終わりまで、新羅大学の学生と交流する機会があり、とても嬉しかったです。プレゼンも2回目で1回目よりリラックスしてできました。名刺交換も良かったです。交流の時間がもっとほしいぐらいでした。
- ・まず新羅大学の広さにとても驚きました。タクシーの運転手さんも迷うくらいの広さと1つ1つの建物が立派ですごく圧倒されました。3つの大学の中で1番様々な国籍の留学生を見たと思います。プレゼンでは日本語が理解できる学生さんは少なかったですが一生懸命理解しようとしてくれて、名刺交換も積極的に話しかけてきてくれて嬉しかったです。
- ・事前に名刺を作ってくれたりしてくださっていて連絡先を交換できたので、今後も仲良くして行きたい。
- ・日本語を話せる学生が多い。寮が安く、留学生に優しい。プレゼンをしている時、すごく真剣に聞いていたので、とても嬉しかった。
- ・2回目ということもあり、落ち着いてプレゼンできました。日本に興味がある人ばかりだったので、言葉の壁はあまり感じずにコミュニケーションをとれたと思います。
- ・とても大きな大学で、寮もすごくオシャレでびっくりしました。日本語を話せる韓国人もいて、勉強をすごく頑張っているんだなと実感し、私も韓国語を話せるように勉強しようと思いました。プレゼンは二回目で、英語すごかったよ！と声をかけてもらえたのでとても嬉しかったです。
- ・日本に興味のある学生が多く日本人のプレゼンにこんなにきてくれるのかと緊張しましたがしっかり聞いてくださったり反応をしてくれて嬉しかったです。プレゼンは英語よりも日本語の方がわかるんだと生徒から言われ日本語の方が理解しやすいのかなとおもったりもしました。先生方の挨拶に生徒同士が仲良くなることで国交問題が解決に少しでも近づけばいいなと感じるといわれて私も同じ気持ちで韓国の方たちもおもっているのだなと実感しました。



新羅大学は、本学卒業生が教鞭をとっていることが縁で、初めて交流させていただいた。2回目ということで少しリラックスし、落ち着いてプレゼンができたようだ。ここでも、お互いのコミュニケーションを通して、韓国語をもっと話せるようになりたい気持ちや、英語でのプレゼンに対して、賞賛の声をかけてもらい、語学を学ぶ楽しさや必要性を学んだのではないかと思う。また、韓国人教授の挨拶で、「生徒同士が仲良くなることで国交問題も解決に近づくことを希望する」と述べられ、初めて訪れた韓国人の人たちも同様な気持ちをもっていることを感じ取ったようだ。

3月24日（金）

（午前）企業訪問「山口銀行・釜山支店」

就職活動が本格的にはじまる本学学生に海外で働くことの大変さや面白さについて、話を聞かせてもらうために山口銀行釜山支店を訪問させてもらった。お二人の方に韓国語研修で語学学校に通った話から、日本人と韓国人のビジネススタイルの違いなどについて質疑応答を交えながら話をさせていただいた。学生も積極的に質問を行い、海外で働くことに関して多くを学ばせてもらった。



（学生のコメント）

④山口銀行訪問に関しての感想

・海外で働くのに向いている人についてだったり、仕事上での日本人との違いであったり、沢山のことを教えていただいたのですごくいい経験になった。

・普通に語学留学から初めて普通に働いていてすごいなと思いました。私もこんな感じで仕事してみたいと思いました。でも山口銀行の事を前もって調べてたらよかったなと感じました。

・韓国語が全然わからないのに、派遣されるのは不安だと思うけど、とてもいい仕事だなと思いました。9ヶ月の語学研修も絶対レベルアップ出来ると思うので羨ましいです。海外で働くまでの力はほしいと思いました。

・山口銀行さんでは、あまり聴くことのない海外での仕事のことや就職のことなど今からの私たちに必要なことをたくさん聴くことができてよかったです。少しの時間だったのですが、少しは海外での仕事の雰囲気を味わえたのではないかなと思いました。

・海外に進出している企業だったので、とても興味深かったです。また、日本人から見た韓国生活の様子も聞くことができ、よかったです。これから本格的に就職活動が始まるので、参考になりました。

・山口銀行では貴重なお話を聞かせていただきました。これからの就職活動において大事なこと、社会に出たときに必要なことを学ぶことができました。どんな仕事についてもその仕事にやりがいを感じ、何事にも楽しんで取り組むことが大切だと感じることができました。

・お二方とも日本での仕事を経験したのち釜山に來られていて、とてもたくさんの経験をされているんだなと思いました。

・語学の壁や仕事の内容など大変なことだらけだと思っていたのですが、語学学校にも通うことができ、それなりの制度も整っているということで、海外で働くことに魅力を感じました。

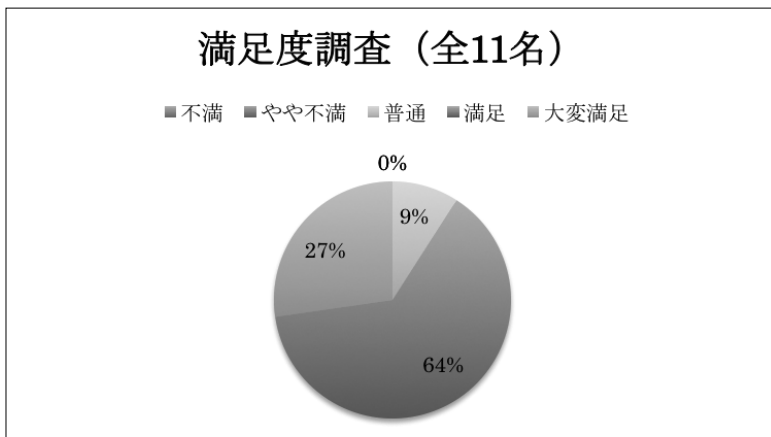
・銀行の内容や、海外での仕事の大変さを知れてよかったです。就活に役立てていきたいと思いました。

・銀行には初めて訪問しました。外国での生活の違いや、仕事の雰囲気を感じることができ、とても良い訪問でした。社員さんも優しく、良い会社そうだなと思いました。海外での仕事もいろんな経験ができるし、自分を成長させられる良い事だなとわかりました。実際に海外で働く日本の企業は海外の現地の言葉をたくさん話すとおもっていましたが日本語をはなせる地元の方のおかげで日本語でも不自由がないと知りました。実際に働いてる方達のチャレンジ精神の高さに驚き自分自身もたくさんのことに就職後もチャレンジしていきたいと感じました。

多くの学生が海外で働いてみたいと考えているが、実際に海外で働くことの大変さや面白を実際の経験を通して話をしてもらった。文化や言葉の違いで仕事のやり方が異なることや、やりがいを持って仕事をされていることを感じ取ることができたようだ。また、就職活動中の学生にとっては、仕事の事や就職活動に参考になったようだ。

(午後) 釜山→福岡 移動

参加学生(11名が回答)の今回のプログラム全体の満足度調査は、以下ようになった。ほぼ9割の学生が大変満足、満足と回答した。残り1割も普通と答えており、第1回目の試みとしては、高い評価だと考える。



上記の満足度調査に関連して、以下の質問をおこなった。

質問：(来年度に向けて、) 事前準備を含めて、改善点と後輩へのアドバイス。特に、満足度調査で5の評価でなかった人は、理由を書いてください。次年度への改善点としたいと思います。なんでも率直にお願いします。

・全体的につめつめすぎてどこ行って何をするのかよく分からないままだ移動しているって感覚だったのでもう少し余裕があればいいと思うしもっと観光とか加えたほうがいいと思った。とりあえず買い物する時間がなかったです。

・私は留学興味なかったんですけどこのプロジェクトに参加して興味を持ったので色んな人を連れて行くのもいいと思いました！あと韓国語をもっと使えるようになったかったので研修前に1日だけじゃなくてもっと長くなりたいかったです。

・プレゼンテーションの準備が不足していたなと思いました。動画や読み方など。また、行く先のことをもっとそれぞれで調べておくべきだったなと思いました。

・自分たちのプレゼンの練習不足と、4日間の時間が詰め詰めだったこと。学生との交流の時間ももっとほしかったです！やりたかった英語のプレゼンや学生との交流、韓国の様子を実際に見ることができ、とても楽しく勉強になった4日間でした！参加させていただきありがとうございました。

・プレゼンの中でただ説明するだけでなく韓国の学生にも参加してもらうゲームなどを入れたら楽しんでもらえると思いました。また、もっと韓国語で説明できたら伝わりやすかったかなと感じました。しかし、実際にプレゼンをやって日本語が聞きたいと言ってくれる韓国の学生さんもいたので韓国語と日本語を上手く組み合わせ発表することが大切だと思いました。なによりこの研修を通して、言葉や文化は違っても実際に話してコミュニケーションを取ることが1番重要で、自然とお互いのことを理解できたり、仲良くなれるということを経験することができました。今回学んだことを今後に活かしていきたいです！

・たくさんの経験ができてよかったです。

・事前指導で、語学のある程度の会話をしたいと思いました。準備するものをもっと早めに言って欲しいです。

・プレゼンでは前もって原稿を覚えて目を見て話せるようになっていいと思います。交流では積極的に話しかけると素敵なお方と出会えると思います。

・みんなで少し韓国語を勉強した方がいいかもしれないなと思いました！

・プレゼンを練習する機会がもっと欲しかったです。プレゼンする場所に行き実際に行くことはとても大切だと感じました。海外の人に楽しんでもらうにはまず自分が楽しんだことを伝えることが大切で実際に見たものを発信した方がいいです。プレゼンの中に日本語表記だけでなくできれば韓国語や英語での表記を作った方がいいと感じました。辛いものは食べない方がいいです。体調を崩します。

5 課題と今後の展開について

今回、試験的に実施したプログラムだが、かなりの手応えがあった。来年度は、「グローバル・リーダーシップ」という正式な科目として集中講義（渡航前の準備）を2月に実施する。

まずは、国内宿泊型集中講義で、グローバルリーダーシップとは何かを考えさせ、チームワーク作り、プレゼンの内容・方法、韓国語・英語など語学訓練を組み込んだものを実施する。

今回の反省にあったが、事前準備をしっかりやることにより今年よりはさらに次年度は自信を持ってプレゼンに望むことができると考える。

また、訪問地や訪問する大学の情報収集も徹底的にやることで、より深く海外のことを学び、経験できると考える。

この海外研修を武者修行（Knight/Samurai Errantly）と位置付け、自分たちの意見を堂々と外に発信できる自信を身につけさせ、海外の学生と円滑にコミュニケーションが取れ、海外の学生と協働でタスクを達成できるスキルも学ばせるような、短期間の海外研修でも内容の濃い長崎短期大学独自のグローバルリーダーシッププログラムを構築していきたい。

「グローバルリーダーシップ」養成のために展開する授業や主な研修：

- 1) 短大で、語学・異文化理解系の科目で学ぶ
- 2) 短大で、海外からの留学生との協働プロジェクト、交流を通して学ぶ
- 3) ギャップイヤーの経験の中で外国人との関わりで学ぶ（インターンシップでスタッフ間や接客、留学）
- 4) 国内宿泊型「グローバルリーダーシップ」集中講義で学ぶ

- 5) 海外宿泊型「グローバルリーダーシップ海外研修」で学ぶ
- 6) 振り返りで学ぶ

参考文献

中島峯雄 (2012) 『企業・大学はグローバル人材をどう育てるか』 アスク出版

牟田美信 (2014) 国際コミュニケーション学科でのグローバル人材要請教育の試み、長崎短期大学研究紀要、26, 1-6

牟田美信 (2015) 短大におけるグローバルマインド育成、長崎短期大学研究紀要、27、107-113

(募集要項)

GC Global Leadership海外研修2016
*** 長崎短期大学アンバサダープログラム**
2017年3月21日(火曜日)～3月24日(金曜日) 3泊4日

(目的)

国際コミュニケーション学科でリーダーとなり得る学生を対象に、韓国にて「グローバルリーダーシップ海外研修」を実施する。

ギャプタームの留学やインターンシップで、社会人基礎力を高めた学生の中で、さらに自分の力を伸ばしたいと自ら強く望む学生を対象に実施する特別プログラム。

具体的には、韓国の「新羅大学」、「培材大学」において、現地学生へのプレゼンテーションや意見交換を行い、自らの考えを(海外でも)発信できる力を身につける。

また、韓国にあるグローバル企業や韓日親善協会などを訪問し、海外で仕事をする事、日韓交流に関して話をして頂き、意見交換を行う。

このプログラムを通して、学生のやる気を引き出し、能力を高めてもらい、2年次の学びの過程で他の学生のリーダー的な役割をはたしてくれることを期待している。

平成29年度より、このプログラムを体系化し、国際コミュニケーション学科の売りにしていきたいと考えている。

参加者：引率2名 学生12名

費用：3万円

*費用に含まれないもの、パスポート取得代、海外保険代、自宅～福岡空港までの往復交通費、現地でのお小遣い。

(単位) 「海外文化事情Ⅰ(アジア短期研修)」2単位

(旅程)

3月21日(火) 福岡発→プサン着 釜山駅→テジョン駅

3月22日(水)

午前中10-12、培材大学キャンパスツアー(カジノ室などを含める)、学生交流会

昼食12-13 学生さんと一緒に食事

午後13-15 培材大学でのプレゼンテーション&ディスカッション、

午後15-17 大田市内見学(学生同士で)

*教員は、培材大学で会議のあと、大田市内見学

午後17-18 大田市国際交流センターでチョゴリ着付け体験学習

18:0 釜山へ移動

3月23日(木)

午前中10-12、新羅大学キャンパスツアー、学生交流会

昼食12-13 学生さんと一緒に食事

午後13-15 新羅大学でのプレゼンテーション&ディスカッション、